昭和53年5月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話 4111番㊦・〒754—12

印刷　阿知須砂郷　よしの印刷

広報あじす

No. 318

町の住民登録人口
（53年4月30日現在）　前月比
世帯　2,163世帯　＋5
人口　8,263人　－15
（男3,902人　女4,361人）
（国勢調査　昭和50年10月1日）
世帯　2,113世帯
人口　8,137人
男3,771人　女4,366人

地域で考えよう児童福祉

「子どもらの夢を育てる明るい社会」

をとおして明るい家庭づくりを進めましょう。

さわやかな五月の空に、鯉のぼりが高くおよいでいます。五月の空のように澄んだ環境の中で、健康で明るい子どもに成長するように——。

そんな願いをこめて、今年も五月一日から一カ月間児童福祉月間が始まりました。

児童憲章の冒頭に、「児童は、人として尊ばれる。」「児童は、社会の一員として重んぜられる。」と記されています。

昨今のめまぐるしく変わる社会状勢の中で、児童をとりまく環境はますます複雑化し、児童の権利はややもすると侵害されつつあります。この児童福祉月間を機会にいかにしたら児童が人として尊重され、良い社会環境のなかで育成したらよいかを町民一人ひとりが前向きに考えたいものです。

皆んなで手をとり合って

次代をになう児童が明るく、健やかに成長することは、人類すべての責務であり、大きな願いでもあります。

皆んなが児童福祉の理念を理解され、児童の福祉がより前進するよう運動が進められます。

▼児童福祉の理念の普及

急激な社会変動のためややもすれば薄れがちな児童の福祉を、その原点にかえって、この理念の普及と関連制度の活用を図る。

▼正しい家庭教育の普及

児童の養育は第一義的には両親にあり、一家をうったんらんのひとときを過し、親と子の対話等の排除、防止」などに努めましょう。

（写真は砂郷保育園で）

青少年白書

男の子は「野球の選手」女の子は「幼稚園の先生」

—大人になったらなりたい人—

子どもはいま、なにを考え、脳版「青少年白書」は、子どもたちみ、どんな遊びをしているのだろ—総理府がまとめた五十二年の全体像を浮き彫りにしています。その中からいくつかを紹介する

遊びはテレビで

小学生のふだんの遊びは「テレビを見る」が、男女ともトップついで「本、マンガを読む」「自転車乗り」の順になっています。これは昭和二十九年当時の小学生の"遊びベストスリー"「縄とび」「鬼ごっこ」「ベースボール」と比べると、遊び方もガラリと変わっていることがわかります。

なんでも話し合える友達を

どんな友達が欲しいか、という問に対して多かったのは"なんでも話し合える"「いろいろなことを教えてくれる」「秘密を守れる」人が上位を占めています。

また、【欲しい友達】の条件としては"スポーツが上手"「勉強ができる」"遊び道具をたくさん持っている"などをあげています

華やかな職業にあこがれ大きくなったらどんな仕事をする人になりたいか、小学校の男子の半数以上（五五％）は"プロ野球の選手"、女子の半数近く（四四％）が"幼稚園の先生"と答えています。

ついで男の子は"スポーツ選手"三番目が"科学者"。また、女子の二番目が"歌手"、ついで"美容師"。幼稚園の先生は別としていずれも華やかな職業を望んでいます。

子どものことなら何んでも

「中央児童相談所」へ

子どもの教育やしつけの問題で気軽に相談に応じてくれるところを存知ですか。

山口県中央児童相談所（山口市大内御堀・電話山口二七五一）は児童のことなら何でも相談を受付け、適切な助言をしたり、直接お世話をしていますので、ご利用ください。

「遊びを見なおそう」

—本音を聞こう—

古賀博史

井関小教諭・生徒指導

新学年を迎え子どもたちは明るく元気一杯に運動場を走り回っている。

しかし、ひとりひとりをよく見るとすっきりしない顔がある。何か心にモヤモヤしたものを含み気分が終始快でないのである。そんな子を見るとともしやとひかかるものを感じるときがある。新聞に目をやるとテレビのチャンネル争いからが妹を殺したり、強盗をしたり、放火、万引など児童生徒に関する悲しい暗い出来事が日々紙面に出ている。

いろいろと原因がまことしやかに書き並べてある、が言えることは「子どもは遊びやけんかを通して人間的に成長する」ということを忘れ親の犠牲者にならないようか、子どもは場をふまなければ自分をどう処していいかわからないのである。無知なのである。

ところが、わたしたちは子どもの遊びにあまりに無関心で子どもたちの訴えに耳を傾けようとしていないのではなかろうか。

最近の子ども遊ばなくなったとよく言う。遊びもテレビやマンガを見たり、テレビゲーム買ってきたオモチャで時間をつぶしたりすることが多い。まして最子ども達と話し合ったり、共に遊ぶ親子のふれあいの時間が少なくてグループで遊んでいることはほとんどない。どろんこになったり手をつないでいますが、子ども達と一緒に遊ぶことによって感じたことですが、子どもは純ぼくの中に学生に応しっかりした考えを持っておることです。時には逆に教えられることもあります。

また、われわれ大人はともすれば経験を上手に言える子どもをよしとする傾向があります。

昨年の校庭開放は七月から今年の三月まで土・日曜日の午後、学校の講堂、運動場、図書室を開放し、自由に遊んでもらおうという目の生活をみの返るとともに接触の時間をより大切にしたいものです。毎回、当番で父が指導にあたっています。バドミントン、卓球、ソフトボール等子ども達が好きなことをして遊ぶのです。中には"おばちゃん一緒にしようや"といってくれます。私は喜んでその仲間に入れてもらい、楽しい一時を過ごすことがあります。

そのようなことがあって、子どもは私にどこで出合っても声をかけてくれます。"おはよう"、"こんにちは"その時ほど嬉しいことはありません。

子どもが明るく元気な姿を望まない親はないと思います。これからも、こうした場にできるだけ出ていき、多くの子ども達とのふれあいを深めていきたいと思います。

「親子のふれあいを」

礒部美佐子（浜）

阿知須町子ども会育成連絡協議会・専門委員

最近では共稼される家庭が多くなり子ども達と話し合ったり、共に遊ぶ親子のふれあいの時間が少なくなったように思います。

私は、小学校の校庭開放事業を一層充実されることを願っております。

たばこは○○町内で。

お知らせ

妊婦学級開設

申込み五月十三日まで

町では健康な赤ちゃんを生み、育てるための教養講座として、つぎの要領で妊婦学級を開講します。一コース四回、係では多くの受講を望んでいます。

日時＝五月十八日から毎週木曜日、時間は午後一時三十分から約二時間。

場所＝町役場

対象＝町内に住む妊婦、新婚、婚前の女性。

講義内容＝妊婦の心得、妊娠中の生理衛生、分娩の準備と経過、妊産婦体操、家族計画、身体の洗い方、映画など。

申込み＝五月十三日（土）の午前中までに地区母子保健推進委員か町保健衛生課へ。

囲碁大会を十四日に

十二日までに町公民館へ

第二十六回町内親睦囲碁大会が五月十四日（日）午前九時から町役場会議室で開かれます。昨年度までは二月に開催されていましたが参加希望者の希望により変更。

参加希望者は五月十二日（金）までに参加費（昼食代）三百円を添えて町公民館へ。当日の申込みは準備の都合上受付けません。

競技方法は昨年度までと同じ。詳細については当日掲示。

そのほか、囲碁愛好会（会長・兼定彰）と町教育委員会は共催でさつき盆栽展を十七夜祭に合せて開催します。

展示期間　五月十九日後一時から二十日・二十一日の午前九時から午後五時まで。この間即売も行われます。

場所　西条区（旧）山口銀行

賞の授与　優秀品には賞品の授与があります。

さつき盆栽展

19 20 21日に（旧）山口銀行で

阿知須郡花木愛好会（会長・兼定彰）と町教育委員会は共催でさつき盆栽展を十七夜祭に合せて開催します。

展示期間　五月十九日後一時から二十日・二十一日の午前九時から午後五時まで。この間即売も行われます。

場所　西条区（旧）山口銀行

賞の授与　優秀品には賞品の授与があります。

二級建築士試験

県では二級建築士試験の「学科」を七月二十二日、「設計製図」を九月七日に実施します。

これに伴う申込みを五月十五日から十九日の間受付しています。

詳しくは、県土木建築部建築課指導係か町役場施設課に問い合せください。

◇　◇　◇

プッシュホンが本町でも使用可能に

宇部電報電話局が受付中

六月七日から町内にもプッシュホンが使用できるに伴い、宇部電報電話局では申込みを受付中です。

便利さ、スマートさで好評のプッシュホンは、マホンホンと軽くタッチするだけでつながります。

〇九ケタとか十ケタという長い電話番号も短縮ダイヤルにしておけばボタン二つでつながります。

〇ポディカラーは、お部屋に合せてグリーン、ホワイト、レッド、グレーの四色が選ばれます。

取付費用（現在ある電話機との取り替えの場合）

債券　三万円

人事移動

七月一日付

阿知須町教育委員会社会教育係（町史編さん）中野　真琴（臨採）

変更のお知らせ

〇保健衛生課から各戸に配布した衛生行事日程表の中で七月九日育児相談とあるのを都合により五月十日に変更します。

〇公民館だより五月号で少年教育講座が七月二十日からとあるのを一週間繰り上げ七月二十七日から開講します。したがって、受講申込み者は七月二十日までに町公民館へ。

県の住宅資金十日から受付

山口県住宅資金（新築・購入資金）の受付が五月十日から融資わくに達するまで申込まれます。

○被保険者住宅転貸資金

融資額　五百万円以内

利　率　年六・〇％

○山口県勤労者住宅建設促進資金

融資額　三百万円以内

利　率　年六・五％

詳しくは町役場総務課へ。

危険物取扱者試験

県では第一類から第六類に係る乙種危険物取扱者試験及び丙種危険物取扱者試験を六月十六日に実施します。

受験願書は五月二十日まで。

詳細については町交通防災対策室に問い合せください。

（有線二四一）

5月のメモ

9日　あじのす大学　（後1時半）
10日　戦没者慰霊祭（前10時・岡山）
〃　育児相談（後1時半）
11日　青年教室（後7時半）
12日　料理教室（前9時半）
〃　園芸教室（後1時半）
14日　町内囲碁大会（前9時）
15日　婦人学級（前9時・阿中体育館）
〃　心配ごと・交通事故相談（前10時）
19日　幼児学級（後1時半）
〃　1歳6か月児健康診査及び三種混合（後2時半）
17日　ポリオ生ワク投与（後1時半）
18日　手芸教室（後1時）
〃　妊婦学級（後1時半）
21日　近郷柔剣道大会（前10時）柔道　阿小講堂・剣道、阿中体育館）
〔会場の記入のないのは役場〕

5月の納税

○　国民健康保険税

ぼくの学校　わたしの学校

〔阿知須小〕
8日　結核検診（一年）
9日　集金日（給食費）
11日　参観日
12日　集金日（PTA会費他）
15・16日　六年修学旅行
〔阿知須中〕
8～10日　三年修学旅行
8日　一年知能検査、二年社会見学
12日　レントゲン撮影、三年知能検査
18～20日　一年宿泊訓練
23日　日本脳炎予防接種
25日　参観日、簡易保険納入日
26日　中間テスト発表
30日　眼科検診
〔阿知須小〕
23日～25日　検便
25日　貯金日、日本脳炎予防接種
22日　参観日
12日　結核検診
16日　一～五年社会見学
18・19日　六年修学旅行

町民運動会

笑いと声援につつまれて

参加者これまでの最高三千二百人

第二十二回町民運動会は四月二十三日、早朝から曇り空にもかかわらず、体力つくりをめざす町民これまで最高の三千二百人が参加して熱戦が展開されました。

競技はだれもが参加できるよう趣向をこらしたプログラムで、老人から幼児までが出場して、グランドいっぱいに競技を繰りひろげ終始、笑いと声援につつまれていました。

とくに、「満員電車」「地区対抗綱引き」「子ども会リレー」「竹の子リレー」などは盛んな声援を浴びながら闘志むきだしの奮戦ぶり。

参加者は朝の入場行進時の集計では三千二百二人でこれまで最高の昨年大会（二千八百七十八人）より三百人以上増え、町民の三八・六八％と一世帯から一人半参加したことになり、これまでの記録を塗りかえたことになります。

チーム別の参加者数は前山が五八・八七％で行進が得点対象になって以来七年間連続トップ。

総合では寺浜チームが優勝し四年連続優勝という輝しい成績を残しました。

〔総合成績〕①寺浜67点②縄田58点③赤浜58点（同点の場合優勝種目の多いチーム）②岩倉53点⑤引野49点⑥旦岡49点⑦中西45点⑧東条45点⑨前山43点⑨飛沖41点⑪河内源河40点⑫鴨生原37点⑬小古郷35点⑭砂郷34点⑮玉川34点

〔入場行進〕（参加率順位）①前山（五八・八七％）②赤浜（五八・六五％）③寺浜（四五・五二％）④中西⑤飛沖⑥玉川⑦小古郷⑧縄田以下岩倉、鴨生原、河内源河、東条、引野、旦岡、砂郷

（写真は中学生出場の「走れ！みのむし」）

ことしは三人を表彰

社会体育の功労者で

町体育協会は四月二十三日、町民運動会の開会式で体育功労者三人を表彰しました。

いずれも社会体育振興に功績があったと区長さんから推薦された人たちです。

受賞者は次のとおり（敬称略）

◇区長推薦△磯金明二（四九）砂一・磯金しょうゆ△福永陽吉（四六）浜・セントラル硝子（株）▽国清美智夫（二九）源河・宇部ゴルフ観光（株）。

区長さんお世話になります

今年度の各区長さんはつぎのとおり。数字は世帯数。

小東	松尾貞雄	三〇
小西	長田岩一	七〇
小南	斉藤利典	七七
前山	市原稔	六九
北祝	井上泰	五二
南祝	松本隆夫	一〇〇
恵比須	大塚朝男	六五
築地	川崎茂夫	五五
東	池本保	五七
縄南	山本松三	九一
縄北	網重高行	六五
中村	新田悦三	三八
西条	磯金芳治	六六
寺河内	西村礼一	四九
浜	小林繁	一〇〇
砂一	村田和俊	五四
砂二	西村勲	四六
砂三	松浦有朋	一三三
飛石	吉村良夫	九一
沖の原	西村美隆	四八
岩西	藤岡治郎	三三
岩前	倉光辰見	五二
岩西前	藤重俊幸	三九
岩辻	中村正直	五七
岩上	藤重隆敏	三八
旦東	下川豊介	三四
旦西	福来利彦	二六
旦北	松本俊	五〇
門松	伊藤寅治	三八
岡	須原友作	二八
浜表	古谷龍次	六一
赤迫	師井貞仁	四〇
井関	山本与一	三六
野口	小野吉次	四四
杖川	国藤育雄	二五
河内	村上和夫	四九
源河	手嶋儀一	三八
向井関	三好彰	二七
引野	福永順生	五一
仙在	村長吉人	二四
青畑	小林光頼	一一
焼野	石川勇	三

慰問はあなたの芸で

敬老会出演者を一般募集

ことしの敬老会はあなたの芸でお年寄りを慰めてあげませんか…

町の敬老会は毎年九月十五日に阿知須中学校で開いていますが、ことしは、町内のかくれた芸能人を発掘するとともに、こうした人たちに発表の機会を与える意味で出演者を一般募集することになりました。

したがって、歌、民謡、奇術、舞踊、その他、老人を慰めるにふさわしい特技をもっておられる人の善意による出演を望んでいます。

出演時間は当日、午前十時半から正午まで。一種目の時間は長くて二十分が限度。個人・グループいずれでも結構です。出演希望者が多く、同じような種目が重なるときは、老人による運営委員会で選ばせていただく場合もあります。

昨年までは町内の社会教育団体を中心とした人々、町外の芸能人などによる演芸等が続きましたが、さきに、町教育委員会が町民の人材相互開発調査と名づけてアンケート調査した結果、かなりの人が芸能、演芸部門で「自分でできる」と回答しており（社教だより三月号）こうした人たちの発表の機会を与えようとするねらいも含まれています。

出演希望者は六月二十日までに種目、時間、住所、氏名等を住民課福祉係までお知らせ願います。電話（四一一一有線二一三三）でも結構です。

納税一〇〇％は三十六組合

昨年度の納税成績

町では毎年優良納税組合を表彰し、その成績に応じて報奨金を贈っていますが、今年も成績により贈りました。

成績は四十二組合のうち三十六組合が一〇〇％でした。全体の納税率は九九・六％で昨年の九九・三七％より上っています。

納税成績一〇〇％というのは地区の全世帯が納税組合に入り、しかも完納しているということです。成績はつぎのとおりです。

〔一〇〇％〕

小東、小西、前山、北祝、南祝、恵比須、東、縄北、中村、西条、寺河内、砂一、砂二、砂三、飛石、岩西、岩前、岩西前、岩辻、岩上、旦東、旦西、旦北、門松、岡、浜表、赤迫、井関、杖川、河内、源河、向井関、引野、仙在、青畑、漁業組合

〔一〇〇％未満〕

小南、築地、縄南、浜、沖の原、野口

〝看板屋もビックリ〟

レタリング教室生　町の観光案内図を制作

町教育委員会が毎週火曜日夜、開設しているレタリング教室の受講生が二か月がかりで制作した「阿知須町観光案内図」が阿知須バス停上り線側に設けられ、町を訪ずれるお客さんに喜ばれています。

町内の名所が一目でわかるこの案内図は畳三畳分もある大きなもので、幹線道路、岡山納骨塔、ゴルフ場、引野遺跡、丸塚古墳群などがわかりやすく描かれ〝看板屋さんもビックリ〟。あなたも教室に入会され、これからの制作に取り組まれてはいかがですか。（会費月三百円）

赤十字社員増強運動

社資三百円以上の協力を

日本赤十字社山口県支部では五月を赤十字社員増強運動として運動を進めています。

同社の事業資金となる社資三百円以上を納めると社員となり円標が贈られます。

なお、区長さんを通じて、社員募集、出資協力をお願いしております。

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕

◇香典返し▽三万円＝石川善次郎さん（縄北）は母ヨシ子さんの。▽五万円＝西中豊さん（中村）は父衛門さんの。▽五万円＝北野菊江さん（旦北）は母ヒデノさんの▽三万円＝上田俊峰さん（飛石）は母京子さんの。▽五万円＝明徳健治さん（浜）は父房夫さんの。▽二万円＝下野勝則さん（飛石）は父佐作さんの。▽五万円＝田坂一郎さん（中村）は妻ハツミさんの。

◇一般寄付▽一万円＝原田サツキさん（旦東）は長男稔さんの就職祝として。

〔町へ〕

◇広報紙送料として▽五千円＝大谷節子さん（防府市上天神町七—一五）▽五千円＝岩田秀夫さん（三島市大宮町三の九三七・寺河内出身）▽五千円＝岡村章さん（横浜市在住）加代子さん（大阪府南河内郡在住）兄妹で・浜出身

◇公民館図書として▽片岡辰市さん（若山産業社長）は囲碁に関する本五十冊を。▽中野真琴さん（元豊浦養護学校長）は退職記念として氏原大作全集（全四巻）・エッセイ集を公民館及び町内三校に

〔学校へ〕

▽二万四千円＝町青年団（団長・桂直樹）は映写会の入場料の一部を町内三校の図書代にと。▽軟式野球ボール三十二球＝平海英夫さん（神戸市長田区山下町四丁目十一—一・小西出身）

慶弔録

出生（おすこやかに）

父の名	続柄	子の名	月日	部落
笹川勉	長女	奈己	4・3	砂三
田中隆男	長男	和彦	4・8	岩辻
松代光正	長女	彩	4・5	砂一
須原昌夫	長女	一十三	4・8	岡
福永宏志	長男	隆志	4・13	引野
正司雅春	二男	賢太郎	4・15	向井関
上野要治	長女	德子	4・15	岩辻
石田梅松	長女	祐子	4・16	岩西前
宮重正彦	長男	政人	4・14	浜
井本勝幸	二女	千晶	4・13	前山

婚姻（おしあわせに）

竹原和雄	旦西	紀江（深野）	山口市
奥田隆	宇部市	淳子（西村）	砂二
田中則行	山口市	純子（吉本）	岩辻
国重忠司	小西	幸子（和泉）	宇部市
浜田庄次	宇部市	郁子（藤井）	旦西
大井滋	南祝	真理子（岡本）	防府市
塩谷誠一	恵比須	智子（勝間田）	山口市
林克司	防府市	美砂子（生田）	中村
井上幹夫	広島県神石町	和恵（村田）	小東
津田方典	山口市	陽子（岡本）	岩上
小森健史	大阪府箕面市	純子（菊池）	寺河内
坂田吉正	赤迫	れい子（森）	宇部市
寺岡幸夫	宇部市	民子（長井）	河内
丸山勝義	山口市	清子（割岩）	赤迫
黒瀬幸司	引野	まり子（斉川）	山口市
原不二穂	宇部市	恵子（上野）	縄南
辻水悟	岩辻	久代（尾田）	兵庫県姫路市
藤友進	宇部市	絹代（武重）	縄北
赤瀬悟	山口市	悦子（伊藤）	旦東
吉武見治	西条	真祐美（木村）	宇部市
伊藤信行	飛石	弘子（山根）	熊毛郡田布施町

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	月日	年令	部落
福永文子	4・4	29	砂三
明徳房夫	4・8	65	浜
田坂ハツミ	4・10	78	中村
下野佐作	4・17	58	飛石
江口花子	4・20	72	中村
竹原清助	4・23	83	門松
工藤浩一	4・23	20	小西

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

砂三　藤永ミツノ
親鸞の慈悲のお血筋受け継ぎし二十四代の御門主を拝す

南祝　長谷川さつき
掻い巻きに顔をしづめて寝る夜の外ははげしく雨降り頻る

旦東　木原百合雄
国東のほとけ慕いて野に山に老いらくの春妻と旅ゆく

源河　三吉琴
かぶ白菜畑に残り花咲けりそこにいそしむ母在るごとく

砂三　桜井文子
干拓の焼跡掘れば葭の根に緑の苔は冷たくしめりて

浜　正司ウメノ
雨蛙見つけし孫は掌に乗せて喜ぶ啓蟄の日に

小西　藤重アヤ子
夕方に鷺と見まがう木蓮の白き花びらそよ風にゆらぐ

小西　平海アサノ
ドラ鳴りてい出ゆく船の乗組の人の妻らし吾に道問ふ

小東　松尾君代
亡き母はこころに今も生きて在り吾の言葉は時に亡母なり

小西　徳本喜一
春雷はホテルの空で光り鳴る明日のスケジュール思いつつ寝る

源河　村井薫
白菜を引きたる跡の乾く土くぼめるままにいぬふぐり咲く

北祝　原田双恵
白と黄の花のみ矢鱈と目につきぬ春爛熳の町を歩みて

砂三　渡辺宮子
ポタポタと乳汁たらしパパイヤの実を採りくる肌の濃き男

岩西　中本幸枝
母娘二人耘機押して春田鋤く事にも慣れし六年目の春

飛石　砂村ヤス子
新らしき園児の中に今年も泣声にぎにぎしわが家の前

浜　石田サダ子
家近き乗り換え駅に帰り来て馴れし訛りに心安らぐ

浜　宮重カメヲ
いづかたに流るる白き花びらかうごきゆく川面しばしながむる

砂一　松代二郎
息子夫婦生まれし女児の名付けすと彩との文字われも愛でをり

同和問題とは (2)

同和問題とは、どんなことでしょうか。昭和四十年八月に出された総理府同和対策審議会の答申（以下、「同対審答申」という）は同和問題の本質について次のように述べています。

○―同和問題は、日本の歴史の流れの中で政治的につくられた身分制度に始まる差別によって、日本国民の一部の人々が経済的、社会的、文化的に低い状態におかれているという問題。

○―同和問題は、日本国憲法が保障している基本的人権にかかわる問題であって、とくに今日の社会生活でだれもが保障されている市民的権利・自由が日本国民の一部の人々には保障されていないという問題。

○―同和問題は、わたしたちの生活の中で、もっとも深刻で重大な社会問題です。

同和問題の中心になる課題は、部落差別そのものです。この部落差別は、今も日本の社会に、いろいろな形態で根強く生きています。

では、どのように生きているかまとめてみましょう。

▽　心理的差別…人々の心の中にひそんでいる差別ですが、ことばや文字や行動をとおして外にあらわれます。たとえば次のような差別です。

ア・封建的な身分の賤称（いやしい呼び方）を言動にあらわして人を見下げる差別。

イ・偏見や嫌悪の感情によって交際をこばみ婚約をとり消したりする差別

▽　実態的差別…同和地区住民の生活のうえに、具体的にあらわれている低い状態のことです。たとえば、次のようなことがらです。

ア・めぐまれない環境

イ・働く条件の悪い職業構成

ウ・貧しい生活状態

エ・低い教育文化水準

このような心理的差別と実態的差別とは、たがいに深くかかわりあっています。すなわち、心理的差別が原因となって、実態的差別をつくっています。また、反面では、実態的差別が原因となって心理的差別を大きくしています。そしてこの関係が差別をますます深刻なものにするという悪循環をくり返すわけです。こうした部落差別は、ひとくちにいえば市民的権利・自由の侵害にほかならないのです。市民的権利・自由とは。

ア・職業をえらぶ自由　イ・教育を受ける権利　ウ・居住および移転の自由　エ・結婚の自由などであって、この権利・自由が同和地区住民に対しては完全に保障されていないことが差別なのです。なかでも職業をえらぶ自由が保障されていないことがとくに重大なことです。したがって職業をえらぶ自由と教育を受ける権利を完全に保障することが同和問題解決の中心的課題です。

（文責・阿知須町同和教育推進委員会）

◇　◇　◇